



平成23年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場取引所 福

上場会社名 Q-タイセイ

コード番号 3359 URL <http://www.taisei-wellnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 成一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 江藤 衆児

TEL 0972-85-0117

四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第3四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年9月期第3四半期 | 1,942 | — | 18 | — | 49 | — | 15 | — |
| 22年9月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 23年9月期第3四半期 一百万円 (—%) 22年9月期第3四半期 一百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 23年9月期第3四半期 | 1,080.15 | 1,068.27 |
| 22年9月期第3四半期 | — | — |

(注) 前第2四半期は連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期の数値及びこれにかかる対前年同四半期増減率については、記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-----|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 23年9月期第3四半期 | 2,078 | 699 | 33.6 | 47,950.82 |
| 22年9月期 | 1,757 | 702 | 40.0 | 48,196.26 |

(参考) 自己資本 23年9月期第3四半期 698百万円 22年9月期 702百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 22年9月期 | — | 0.00 | — | 500.00 | 500.00 |
| 23年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 23年9月期(予想) | — | — | — | 500.00 | 500.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 2,350 | 5.4 | 1 | △94.2 | 8 | △83.6 | △18 | — | △1,269.53 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社つく実や、除外 1社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 23年9月期3Q | 14,763 株 | 22年9月期 | 14,763 株 |
| 23年9月期3Q | 191 株 | 22年9月期 | 191 株 |
| 23年9月期3Q | 14,572 株 | 22年9月期3Q | 14,572 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値とは異なる場合がありますので、この数値に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 1 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 1 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 1 |
| 2. その他の情報 | 2 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 2 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 2 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 2 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 2 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 5 |
| (第3四半期連結累計期間) | 5 |
| (第3四半期連結会計期間) | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| 4. 補足情報 | 8 |
| (1) 生産、受注及び販売の状況 | 8 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、このところ、上向きの動きが見られてきました。供給サイドでは、サプライチェーンの回復と共に生産が持ち直して行くことが期待されており、設備投資についても下げ止まりつつあります。更に公共投資も大震災の復旧予算により押し上げ効果が期待されています。こうした状況が期待されるものの、企業収益は増勢が鈍化しており、業況判断も大震災の影響による厳しさが残り、倒産件数も緩やかに増加しており、さらに慎重な対応を検討する必要があります。

このような状況の中、当社グループでは、製菓食材の売上が順調に伸びてきており、子会社プティパでは新たに「デコレートペン」の製造を初めました。これは、チョコレートを利用してケーキなどに絵や文字が描けるようにしたもので、10色展開で行っており、現在は主にCottaで販売しております。また、製菓食材の取扱いにより個人客の登録が増え、平成23年5月においてタイセイの顧客登録件数の累計が10万件を超えることとなりました。当第3四半期連結会計期間の新規顧客獲得件数は、5,012件(前年同期3,537件)となり、注文件数は54,229件(前年同期47,222件)と順調に伸びて来ております。また、以前から予定されていた化成品の値上げにより、当社のほとんどの商品に影響が出ることとなり、一部の商品を除いて6月に値上げを致しました。この値上げによる反動が心配されましたが、今のところお客様のご理解を得ており、大きな影響はありませんでした。この値上げにより当社の低下していた粗利率も改善しており、総じて当社グループの業績は堅調に推移できたと考えます。

以上の結果、売上高1,942,545千円、営業利益18,615千円、経常利益49,187千円、四半期純利益15,739千円となりました。

なお、前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、売上高及び各利益金額に関して前年同四半期との比較分析は行っておりません。(以下「(2) 連結財政状態に関する定性的情報」においても同じ。)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は、1,028,586千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金448,749千円、受取手形及び売掛金86,592千円およびたな卸資産292,809千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産残高は、1,049,681千円であり、その主な内訳は、土地248,005千円、建物及び構築物531,219千円、のれん61,212千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債残高は、465,025千円であり、その主な内訳は、支払手形及び買掛金142,410千円、1年内償還予定の社債100,000千円、短期借入金50,000千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債残高は、913,313千円であり、その主な内訳は、社債400,000千円、新株予約権付社債55,000千円、長期借入金373,832千円であります。

(株主資本)

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は、699,928千円であり、その主な内訳は、資本金281,875千円、資本剰余金241,234千円、利益剰余金182,486千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、営業活動により増加した資金35,907千円、投資活動により使用した資金119,302千円、財務活動により増加した資金104,726千円により、271,749千円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

売上債権の増加20,863千円、たな卸資産の増加25,513千円、法人税等の支払額37,508千円などによる資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益の50,702千円に加え、減価償却費50,575千円の計上、仕入債務の増加34,571千円などによる資金の増加により、営業活動により増加した資金は35,907千円となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

子会社の工場建設などによる有形固定資産の取得による支出116,946千円などにより、投資活動に使用した資金は119,302千円となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

長期借入金の返済による支出25,008千円、リース債務の返済額7,195千円などによる資金の減少に対し、短期借入れによる収入50,000千円、長期借入れによる収入100,000千円の資金の増加により、財務活動により増加した資金は104,726千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月15日に発表いたしました連結業績予想についての変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当社は、平成23年3月28日の取締役会決議に基づき、株式会社つく実や(住所:大分県津久見市)が行う第三者割当増資により発行する新株を引き受ける契約を締結し、平成23年4月1日を払込期日として払込を完了いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 448,749 | 427,417 |
| 受取手形及び売掛金 | 86,592 | 73,850 |
| 有価証券 | 50,000 | 50,000 |
| たな卸資産 | 292,809 | 254,290 |
| 未収入金 | 126,321 | 102,344 |
| その他 | 25,531 | 19,129 |
| 貸倒引当金 | △1,417 | △1,370 |
| 流動資産合計 | 1,028,586 | 925,663 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 531,219 | 425,921 |
| 土地 | 248,005 | 247,776 |
| リース資産(純額) | 77,442 | 39,443 |
| その他(純額) | 43,057 | 7,715 |
| 有形固定資産合計 | 899,724 | 720,857 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 61,212 | 26,500 |
| その他 | 62,172 | 63,605 |
| 無形固定資産合計 | 123,385 | 90,105 |
| 投資その他の資産 | 26,571 | 21,339 |
| 固定資産合計 | 1,049,681 | 832,302 |
| 資産合計 | 2,078,267 | 1,757,965 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 142,410 | 104,387 |
| 短期借入金 | 50,000 | — |
| 1年内償還予定の社債 | 100,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 41,580 | 26,772 |
| 未払法人税等 | 12,615 | 20,021 |
| ポイント引当金 | 18,136 | 15,625 |
| 賞与引当金 | 2,935 | 10,795 |
| その他 | 97,347 | 84,076 |
| 流動負債合計 | 465,025 | 261,679 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 400,000 | 500,000 |
| 新株予約権付社債 | 55,000 | — |
| 長期借入金 | 373,832 | 239,403 |
| その他 | 84,481 | 54,567 |
| 固定負債合計 | 913,313 | 793,970 |
| 負債合計 | 1,378,339 | 1,055,649 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日) |
|---------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 281,875 | 281,875 |
| 資本剰余金 | 241,234 | 241,234 |
| 利益剰余金 | 182,486 | 186,062 |
| 自己株式 | △6,857 | △6,857 |
| 株主資本合計 | 698,739 | 702,315 |
| 新株予約権 | 1,189 | — |
| 純資産合計 | 699,928 | 702,315 |
| 負債純資産合計 | 2,078,267 | 1,757,965 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日) |
|-----------------|--|
| 売上高 | 1,942,545 |
| 売上原価 | 1,294,327 |
| 売上総利益 | 648,217 |
| 販売費及び一般管理費 | 629,602 |
| 営業利益 | 18,615 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,007 |
| 補助金収入 | 14,686 |
| 協賛金収入 | 26,376 |
| その他 | 1,201 |
| 営業外収益合計 | 43,272 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 11,598 |
| その他 | 1,102 |
| 営業外費用合計 | 12,701 |
| 経常利益 | 49,187 |
| 特別利益 | |
| 前期損益修正益 | 2,515 |
| 特別利益合計 | 2,515 |
| 特別損失 | |
| 訴訟関連損失 | 1,000 |
| 特別損失合計 | 1,000 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 50,702 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 27,443 |
| 過年度法人税等 | 3,067 |
| 法人税等調整額 | 4,451 |
| 法人税等合計 | 34,962 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 15,739 |
| 四半期純利益 | 15,739 |

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-----------------|---|
| 売上高 | 667,494 |
| 売上原価 | 442,339 |
| 売上総利益 | 225,154 |
| 販売費及び一般管理費 | 218,551 |
| 営業利益 | 6,602 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 242 |
| 補助金収入 | 14,686 |
| 協賛金収入 | 4,358 |
| その他 | 338 |
| 営業外収益合計 | 19,625 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 4,728 |
| その他 | 374 |
| 営業外費用合計 | 5,102 |
| 経常利益 | 21,126 |
| 特別利益 | |
| 前期損益修正益 | 2,515 |
| 特別利益合計 | 2,515 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 23,641 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,606 |
| 過年度法人税等 | 3,067 |
| 法人税等調整額 | 3,319 |
| 法人税等合計 | 10,994 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 12,647 |
| 四半期純利益 | 12,647 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日) |
|--------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 50,702 |
| 減価償却費 | 50,575 |
| のれん償却額 | 4,996 |
| 株式報酬費用 | 1,189 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △7,860 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 47 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | 2,511 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,007 |
| 支払利息 | 11,598 |
| 前期損益修正損益(△は益) | △2,515 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △20,863 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △25,513 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 34,571 |
| その他 | △13,981 |
| 小計 | 84,450 |
| 利息及び配当金の受取額 | 579 |
| 利息の支払額 | △11,614 |
| 法人税等の支払額 | △37,508 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 35,907 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有価証券の取得による支出 | △50,000 |
| 有価証券の償還による収入 | 50,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △116,946 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △16,292 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 20,349 |
| 保険積立金の積立による支出 | △4,766 |
| その他 | 352 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △119,302 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入れによる収入 | 50,000 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △25,008 |
| リース債務の返済による支出 | △7,195 |
| 配当金の支払額 | △6,770 |
| その他 | △6,300 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 104,726 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 21,331 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 250,417 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 271,749 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材及び食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材及び食材等の販売事業を主要な事業としており、その他の事業の重要性が乏しいことにより、セグメント情報の開示を省略しているため、生産、仕入、販売の状況においては取扱商品区分別により記載しております。

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績を取扱商品区分別に示すと、次のとおりであります。

| 取扱商品区分別 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日) |
|---------|--|
| 食材(千円) | 72,799 |
| その他(千円) | 22,323 |
| 合計(千円) | 95,123 |

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社は前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第3四半期累計期間との比較は行っておりません。

(2) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績を取扱商品別に示すと、次のとおりであります。

| 取扱商品別 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日) |
|----------------|--|
| 鮮度保持剤(千円) | 131,290 |
| 菓子・パン包装資材等(千円) | 862,118 |
| 弁当容器資材等(千円) | 129,389 |
| 食材(千円) | 98,297 |
| その他(千円) | 2,008 |
| 合計(千円) | 1,223,103 |

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社は前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第3四半期累計期間との比較は行っておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を取扱商品別に示すと、次のとおりであります。

| 取扱商品別 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日) |
|----------------|--|
| 鮮度保持剤(千円) | 235,509 |
| 菓子・パン包装資材等(千円) | 1,322,761 |
| 弁当容器資材等(千円) | 164,694 |
| 食材(千円) | 180,821 |
| その他(千円) | 30,409 |
| 小計(千円) | 1,934,196 |
| 受取手数料(千円) | 8,349 |
| 合計(千円) | 1,942,545 |

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社は前第3四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成していないため、前第3四半期累計期間との比較は行っておりません。